



①



■粘土槨の調査

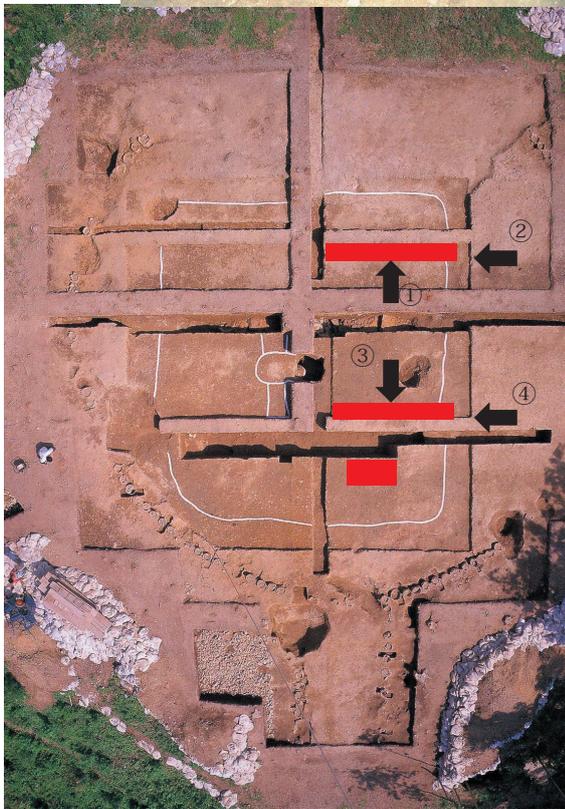
粘土槨の大きさを調べるために、2箇所を発掘調査しました。粘土槨の内部の木棺は腐っていると推測されますが、中央の幅80 cmほどの落ち込みは木棺の幅を現していると考えられます。

②



■粘土槨の表面

粘土槨の表面には、凹凸が見られます。これは棒のようなもので叩くか、締め付けるような行為の痕跡だと思われます。



③



■粘土槨の調査

粘土槨に西側にあたるところで、中央に見える落ち込みは、木棺の端が腐って上の粘土がブロック状に入り込んだ様子です。

④



■ 今回調査した範囲

➡ 撮影方向

■木棺の調査

今回の調査で新たに木棺直葬とする埋葬施設を確認できました。内部を調査せず上面で確認している段階です。木棺は竪穴式石室と粘土槨とは向きを異にしますが、第7次調査で出土した鉄剣や鉄刀などの鉄製品はこの木棺に伴う棺外副葬品であることがわかりました。